

週1回の服用を忘れないために

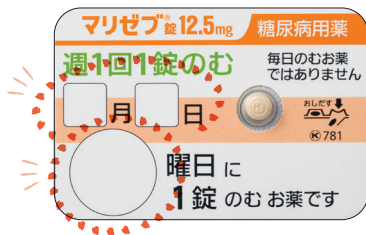
マリゼブ®のパッケージをご活用ください

- パッケージ表面に、服用する曜日と日付を書いて規則正しく服用しましょう

マリゼブ®錠25mg (表面)



マリゼブ®錠12.5mg (表面)



- パッケージ裏面のシールをご活用ください

マリゼブ®錠25mg (裏面)



マリゼブ®錠12.5mg (裏面)



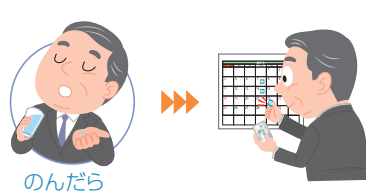
<活用例①>

薬をもらったら、のみ忘れ防止のためにシールをカレンダーに貼っておく。



<活用例②>

薬をのんだ後に、記録としてシールをカレンダーに貼る。



医療機関名

マリゼブ®を服用される方へ

医薬品リスク管理計画
(RMP)

本資料は医薬品リスク管理計画に基づき作成された資料です

マリゼブ®って どんなお薬？

監修：永寿総合病院 糖尿病臨床研究センター長 渥美 義仁 先生

マリゼブ®は
週1回1錠の服用で血糖をコントロール
するお薬です

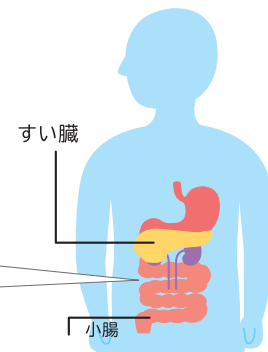
■マリゼブ®の働き

小腸には、食物が入ってくると分泌される**インクレチン**というホルモンがあります。マリゼブ®は、週1回1錠の服用で活性型**インクレチン**の働きを高め、血糖値を下げるお薬です。

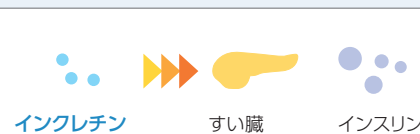
1

インクレチンとは

食事をとると**インクレチン**が小腸から分泌されます。**インクレチン**はすい臓に働きかけてインスリンを分泌します。



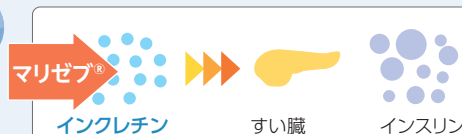
2



インクレチン作用不足

ところが、2型糖尿病患者さんでは**インクレチン**の働きが弱くなっています。

3



マリゼブ®は、体内の活性型**インクレチン**の働きを高め、血糖値を低下させる糖尿病治療薬です。

マリゼブ®は食事による血糖上昇に応じてインスリン分泌を促進します

マリゼブ®は週1回1錠服用するお薬です

のみ間違いがないようにご注意ください(毎日のむお薬ではありません)。
 気になる症状があらわれた場合は、すぐに医師・薬剤師に相談してください。

<正しい服用方法>

週1回1錠を服用します。曜日を決めて服用してください。

(例えば日曜日に服用する場合)



<服用し忘れた場合>

のみ忘れに気づいた時点で1回分を服用し、次回以降はあらかじめ決めた曜日に服用してください。ただし、同じ日に2回分を服用することは避けてください。



<間違って予定より前に服用した場合>

1回分の服用を休んで、次の予定日から服用を再開してください。



<間違って2錠同時に服用した場合>

1回分の服用を休んで、次の予定日から服用を再開してください。



※間違えて服用した場合は、医師・薬剤師に相談してください。

低血糖症に注意しましょう

マリゼブ®により、低血糖症(血糖値が60~70mg/dL以下)が起こる可能性があります。特にインスリン製剤やスルホニル尿素薬と併用している場合は、注意してください。

低血糖症が起きた場合

低血糖の症状(症状には個人差があります)

軽い 低血糖の進行 重い

血糖値
 60~70mg/dL以下 50mg/dL未満 30mg/dL未満



- 強い空腹感
- 吐き気
- 動悸
- 発汗
- 手指のふるえなど
- 眠気(生あくび)
- めまい
- 強い疲労感など
- けいれん
- 意識消失
- 昏睡(刺激に全く覚醒しない状態)など

※低血糖症があらわれる血糖値には個人差があります。

すぐに糖분을摂り、 安静にしてください

<糖分の例>

- ブドウ糖
- 砂糖10~20g
- ブドウ糖か砂糖を含む清涼飲料水



※α-グルコシダーゼ阻害薬との併用により低血糖症があらわれた場合は、糖質を含む食品や砂糖ではなく、ブドウ糖を摂取するようにしましょう。

低血糖症を
起こした場合は、
必ず主治医に
ご連絡ください

シックデイのときは

シックデイとは、糖尿病患者さんが、かぜなど他の病気にかかり、発熱、下痢、嘔吐など体調を崩した状態や、食欲不振により食事ができない状態をいいます。

ご自分の判断で
薬をやめたりせず、
必ず主治医に
ご相談ください